

京都府最古の旧石器時代遺跡 - 京丹後市上野遺跡 2020年夏期発掘調査速報 -

村瀬早紀・村井咲月・吉田真優・鈴木しゅん菜
 (南山大学人文学部人類文化学科上峯研究室)

なぜ発掘調査をするのか

- 約4万年前、ホモ・サピエンスが対馬海峡を渡って日本列島に渡来（列島のサピエンス文化の始まり）



目的① 海浜生活に適応したサピエンスの文化を、発掘調査によって復元する

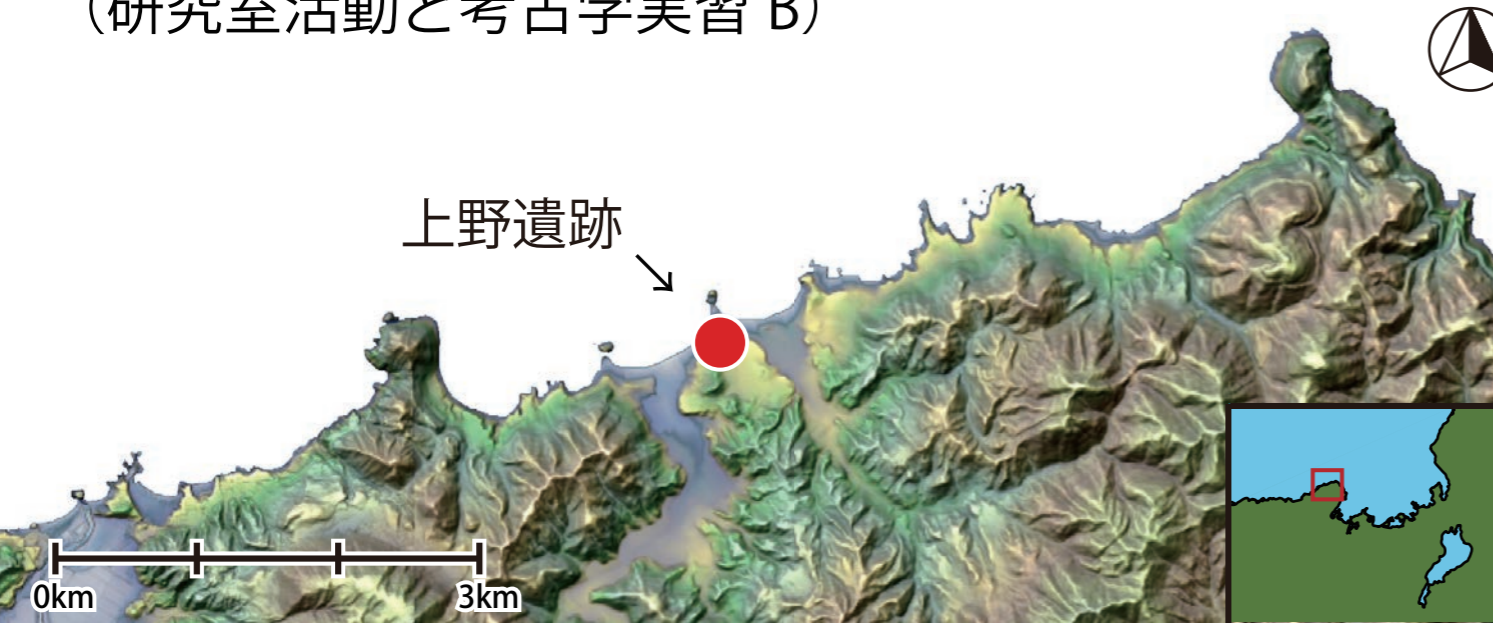
目的② 考古学的データを得るための丁寧な発掘調査方法を学ぶ



※堤隆 (2009) 『旧石器時代ガイドブック』(新泉社)より転載

上野遺跡とは

- 京都府埋蔵文化財調査研究センターの発掘調査で、京都府最古（後期旧石器時代初頭）の遺跡と判明
- その隣接地で、南山大学上峯研究室が発掘調査を実施（研究室活動と考古学実習 B）



※カシミール3Dを元に作成

「発掘調査地の空撮動画」
こちらからご覧いただけます



どのように発掘するのか

- 小さな遺物を見逃さないように丁寧に土を掘り、あらゆる情報をもらさず記録する

「土を薄く切るように発掘する様子」
こちらからご覧いただけます



土を薄く切るように発掘する

石器の埋まり方を調べる

出土状況を記録する



ドローンで地形測量をする

年代測定用のサンプルをとる

発掘後の分析・観察

発掘調査でわかったこと

- 石器の出土層と火山灰層の上下関係がわかり、石器群の正確な年代を決定することができた
- 人類の活動区域が、従来考えられていたよりも広がることを確認した
- 学術的な発掘調査方法を習得できた



※撮影時のみマスクを外しています

発掘調査で得た情報

